

R 1 議会報告と町民との意見交換会

総括報告書(案)



令和2年5月
芽室町議会

目次

■PTAとの意見交換会	4
■団体との意見交換会	36
■高校生との意見交換会	43

開催状況等

	団体名	開催日	開催場所	参加数	発言数
1	芽室中学校	11月18日(月) 19:00~20:45	学校 3年D組教室	17	59点
2	芽室西小学校	11月20日(水) 19:00~20:40	西中学校 理科室	16	87点
3	芽室西中学校				
4	芽室南小学校	11月25日(月) 19:00~21:00	学校 会議室	13	27点
5	上美生小・中学校	11月28日(月) 18:30~20:00	上美生中学校音楽室	11	10点
6	芽室小学校	12月10日(火) 19:00~20:30	学校 会議室	11	34点
	6校	6日	6会場	68人	217点
7	市街地町内会連合会 (総務経済)	7月8日(月) 16:00~17:30	役場 3階第一委員会室	5	11点
8	どんぐり会(厚生文教)	11月16日(金) 18:30~19:30	役場 3階第一委員会室	13	9点
9	社会福祉協議会(厚生 文教)	11月27日(水) 15:30~17:00	役場 3階第一委員会室	10	19点
	3団体	3日	3会場	28人	39点
10	[勉強会]公立芽室病 院(厚生文教)	9月19日(木) 16:00~18:30	公立芽室病院 3階研修 室ほか	13	—
11	[勉強会]JAめむろ(総 務経済)	1月24日(金) 15:00~17:30	芽室町農業協同組合 会議室 2	2	—
12	[勉強会]芽室町商工 会(総務経済)	2月19日(水) 18:00~19:30	芽室町商工会 会議室	10	—
	3団体	3日	3会場	25人	—
13	芽室高校 新聞局・生徒会	12月19日(木) 16:00~18:00	芽室高校 講義室	16	72点
14	白樺学園高校	2月4日(火) ~7日(金) 9:40~11:00	役場 3階本会議場・ 第一委員会室	139	感想文 (139点)
	2校	5日	5会場	155人	72点
	合計	17日	17会場	276人	328点

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により「フォーラム」は開催できませんでした

発言等の内訳(PTA+団体+高校生)

大分類	所管委	内 容
A 議会 2項目	議会運営 2項目	1 議会運営について 1 2 自分のまちの議員について 9
B 総務・行財政 8項目	総務経済委 8項目	1 まちづくり全般について 8 2 旧農試住宅の活用について 2 3 市街地町内会連合会について 1 4 町内会の活性化について 13 5 防災・浸水想定区域について 1 6 人口減少対策について 2 7 地域おこし協力隊について 2 8 地域公共交通全般について 3
C 教育・文化 12項目	厚生文教委 22項目	1 コミュニティスクール 38 2 スクールバス 3 3 通学路の安心安全 23 4 通学手段の改善 13 5 下校するまでの居場所について 24 6 学区・学校配置について 8 7 学校給食について 9 8 学習環境の充実・学校施設整備について 31 9 学習・教材について 3 10 教育支援について 4 11 図書館について 1 12 社会体育施設について 8
D 生活・環境 1項目		1 合同納骨塚について 2
E 健康・医療・福祉 9項目		1 公立芽室病院について 32 2 医療費助成について 5 3 予防接種について 1 4 子育て支援全般について 1 5 福祉関連事業・予算・助成について 6 6 福祉分野の労働力不足について 6 7 運転免許返納支援について 1 8 障がい者の生活・就労支援について 8 9 ひきこもり支援について 2
F 産業・経済 3項目	総務経済委 5項目	1 移住・定住について 1 2 働く場所・労働力の確保・外国人労働者について 47 3 新嵐山スカイパーク 4
G 建設・都市計画 2項目		1 公園について 2 2 除雪基準について 3
計 37 項目		328 点

■PTAとの意見交換会

～ 6PTAとの意見交換会 いただいた意見と議会の対応 ～

1 芽室中学校PTA

日 時： 令和元年 11 月 18 日(月)19:00～20:45
場 所： 芽室中学校 3年D組教室
出席者数： 17 人
出席議員： 立川、中村、西尾、堀切、橋本



① 通学路の安心安全と町道の整備

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
白樺高校までの自転車通学に、南4線～南7線を通るが、途中街灯が無く、道幅も狭い。	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線の道路拡幅については、帯広川に架かる橋りょうの架替工事や用地買収も伴うことから課題が多く現時点で拡幅の計画はありません。 ・現在町では、局部照明(交差点)の設置により交差点に接近、進入通過する車両等が手前から認識するための照明灯の設置を行っていることから、郊外地における連続照明の設置は行っておりません。
大成橋にも自転車と歩行者を区分する車線があるとよい。ねずみトンネルから学校付近まではそのように整備されてよかった。	意見を北海道に報告します。
東めむろから715号線沿いの通学路、	・意見を北海道に報告

<p>街灯をひきつづき増やしてほしい。</p>	<p>・過年度に小中学生と高校生の動線を考慮し、歩道照明灯整備を終えています。現時点でこれ以上の歩道照明灯整備の予定はありません。</p>
<p>芽小前、登下校時、送迎の車が多く危険を感じる。学校が保護者に依頼している登下校時の一方通行の徹底をさらに周知してほしい。</p>	
<p>ねずみトンネルを通り、小学校へと渡る角が、お迎えの車と子どもが交錯しそうで危険を感じる。誰か大人がつく必要があると考える。 *交通指導員を配置するのが良いのか、学校職員で対応するのかは、協議が必要だと思うがまずはここで課題の共有をしたい（校長）</p>	<p>・交通指導員は、正しい歩行の指導、安全な通行の保護、誘導などを職務としています。このうち専任交通指導員は、芽室、芽室西小学校の通学路において、交通量が多く危険と判断される12箇所に配置しています。今後は、町と町交通安全推進委員会、学校と情報共有し、対応について協議したい考えです。</p>
<p>自宅からスクールバス停までの道路が砂利道だが要望すれば舗装できるのか。</p>	<p>・砂利道の舗装要望については、町内に同様な路線が数多くあることから、道路整備評価基準に基づき優先順位を決定し、整備を進めています。</p>
<p>日甜近く、国道38号線から道道715号線までの通りは交通量が多く損傷も進んでいる。道幅が狭い。ビート搬入時期は特に混雑。国道交差点の信号機も感覚が短く渋滞気味。</p>	<p>・当該箇所については、現在のところ拡幅工事等は予定しておりません。道路幅員についても、道路構造令上問題はありません。 ・国道38号線から道道715号線まで(伏古6線)については、平成30年度から舗装の補修を実施しております。全面的な整備の計画はありますが、整備着手には時間を要することから、それまでの間は路面状況を確認し、維持補修で対応していきます。 ・町内に設置されている信号機の時間間隔は、日々の交通量など様々な情報を調査し、釧路方面公安委員会において決定しており、時間間隔を変更することは困難な状況です。</p>
<p>旧北伏古支所から南に向かう2線道路の一区間では毎年冬期間のスリップ事故が多い。農村地域保育所を統合し、保育所送迎のためにそこを通らざるを得ない保護者にとっては気がかり。対策は講じていると思うが、</p>	<p>・降雪後や除雪後に道路パトロールを実施し、路面整正作業や砂撒き作業を実施します。</p>

<p>さらに除雪の工夫が出来ないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年前の議員との意見交換会や前町長との懇談でも伝えている。町はどこまで状況を認識しているかは不明だ。 ・すべりやすいのは防風林があり日陰になる場所。個人所有の土地でもあり解決がむずかしいと思うが、やはり危険。 	
--	--

② 嵐山スキー場

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>リフト代が高い。町民だけでももっとリーズナブルな価格で利用できるようにならないか。そうすれば利用客が増え、レストランなどの収益も上がるのではないか。</p>	<p>回数券・1日券・4時間券を20%引きになる芽室町民限定・リフト割引券をすまいる12月号に掲載しましたのでご利用ください。</p>

③ 免許返納対策

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>高齢者の方々の免許返納の対する町の大きな支援が必要</p>	<p>国は後付けのペダル踏み間違い急発進等抑制装置に対する補助金を新年度予算案に盛り込みました。町は対応の検討をはじめています。</p>

④ 旧農試住宅の活用

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>議会が人材不足に取り組むと説明したが、そうした対策に活用できないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の所有になって良かった。 <p>これからの活用方法に期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町が施設や土地を取得し、これからそのような活用方法を検討中であることを説明した 	<p>*その場で回答</p>

⑤ 人手不足

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>町内の人手不足についての問題提起があった。芽室に住みたいと思う人た</p>	<p>課題解決に向けての今後の参考になる意見が多く出され、当委員会において討議を</p>

<p>ちのケアが必要と思う。音更とか幕別の様に何故、東めむろと帯広間は発展しないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東工業団地について言えば、音更、幕別とちがって、農業と共存している町であり、そもそも土地がなく、農地を工業用に転用することは難しい。 ・子どもたちが進学で学校を離れても、芽室に住みたいと思う気持ちをどう持ち続けてもらうかは大きな課題。 ・芽室に戻ってくる場所がやはり必要である。 ・魅力のある芽室を私たちがどう創っていくのかが大事である。 ・住むところをどのように作ってあげるのか。人口問題を考える上で重要なことである。 	<p>重ね、JAめむろ・商工会など関係機関との各会議において深く掘り下げて行きます。</p>
<p>空き家を活用する方法は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォームするという考えもあるが、住んでも働く場所がなければという問題は大きい。 ・魅力があって、若い人が住みたくなくなるような町づくりをどうするかという事は、どこの町も考えているし、人の引っ張り合いしている時代になった 	<p>*その場で意見交換し回答は不要とする</p>
<p>帯広のベットタウンとしての芽室に。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤め先が違っても、教育・医療・福祉・子育てなどの施策が充実している芽室に住みたいと思っている人は多い。 ・都市計画など困難な面は多いと思うが、東めむろと帯広の接続メリットは大きいと思う 	<p>*その場で意見交換し回答は不要とする</p>
<p>芽室の求人数の状況はどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の人手不足のカウント、公務員とか若い方々が働きたいという人に対する求人とか、経済全体として掌握する難しさがある。 <p>ハローワークの報道では、管内的に求人倍率が1.0を超えている状況であ</p>	<p>課題解決に向けての今後の参考になる意見が多く出され、当委員会において討議を重ね、JAめむろ・商工会など関係機関との各会議において深く掘り下げて行きます。</p>

<p>るが、業種でのミスマッチは当然あるようだ。</p>	
<p>農家の人手不足の状況は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実的に本当に人がいない状況である。 ・外国人労働者については、住むところをどこで提供するのか。実際は雇っている方が提供。町の支援があればと思う。 ・外国人労働者の地域でのトラブルの懸念もある。町内会といかにうまくやっていくか。 ・家族を連れてくる状況があり、子どもの教育についても考えていかななくてはならない。 	<p>課題解決に向けての今後の参考になる意見が多く出され、当委員会において討議を重ね、JAめむろ・商工会など関係機関との各会議において深く掘り下げて行きます。</p>

⑥ 学校施設整備

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>野球場に照明が欲しい。 町営球場、ダグアウトの屋根はどうしてあの形状になってしまったのか 芝生の養生もよくないようだ テニスコート横のトイレが老朽化、使用できる様な状況ではない。子どもたちも使用したがらないし、大会で訪れた保護者も他の施設のトイレを使用している状況。スケートリンク管理棟のトイレを夏季も解放するようになり、今のところは対応できているが、改修してほしい。 学校駐車場の損傷も進んでいる。 春先の凍上などで車の底をこすったこともある。</p>	<p>これから策定される社会体育施設再整備計画のなかでは芽中野球場が再整備の候補にあがっています。今後の調査のなかで方向性や考えを明らかにしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート横のトイレは、校舎長寿命化計画のなかで整備する必要があることは認識していますが、期日は未定とのことでした。 ・頂いたご意見をふまえ、今後の所管調査、予算審査などの際に町の考えを確認していきます

⑦ 図書館

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>子どもが夏休み中、勉強しようと思い訪ねたが冷房が無く、ほかの施設に移動した。図書館をもっと快適に利用できるようにしてほしい</p>	<p>冷房暖房については図書館でも利用者の声が多く寄せられ、課題として認識し、予算請求を行っているそうです。ですが公共施設整備の優先順位もあり、なかなか冷房設置が叶わない状況とのことでした。</p>

	今後、予算審査や公共施設再整備に関わる調査のなかでも頂いたご意見を踏まえ、状況を確認していきます。
--	---

⑧ 公立芽室病院

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>産婦人科があることは、芽室定住を判断する要素の一つだった。診療科の復活を希望したい。</p> <p>将来、芽室町に住みたいと考える人の選択肢になると思う。</p> <p>病院は、何としても存続してほしい。</p> <p>子どもが怪我で入院していたとき、看護師さんたちに励まされ、くじけずに入院生活を乗り切れた事に感謝している。</p> <p>少子化の状況において、公立芽室病院の産科廃止は大きい。</p>	<p>調査後の回答・今後の委員会の取り組み</p> <p>現在、病院を存続するには病院が地域のなかで果たす役割を明確化することが必要であると委員会では調査に取り組んでいます。</p> <p>今後も頂いたご意見を踏まえながら議論を深めていきます</p>

⑨ 子育て支援・医療費助成拡大

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>今年度から、中学生まで全額助成を拡大してくれたことで助かっている。</p> <p>スポーツをやっている子の体の不調に早めのケアが出来ている。</p> <p>中3生へのインフルエンザワクチン接種助成は助かるが、芽室町内は他の自治体クリニックよりもワクチンの料金が高い。助成のない大人は帯広市内で接種している。</p> <p>野球部が全校大会出場時にいただいた町からの支援が助かった。選抜された海外遠征にも支援してもらい行かせることができる。よい経験をさせてあげられる。</p> <p>子どもに関する施設整備が充実している</p>	<p>調査後の回答・今後の委員会の取り組み</p> <p>頂いたご意見はこれからの所管調査、予算審査の際の参考にさせていただきます。</p>

⑩ 学校給食

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
----	--------------------

<p>芽室の給食は本当においしい。 今後値上げの予定もあるときいているが、可能な限り給食の質を落とさずに、子どもたちには美味しい給食を食べさせたい。 保護者からも、教員からも「おいしい」の声があがる。芽室町の給食はボリュームがあり、また職員も熱心に取り組んでいるのが分かり有りがたい。</p>	<p>12月3日に、食材費値上げ分を町費負担することについて委員会で調査を行いました。 頂いたご意見を踏まえながら、これからも委員会での調査等に取り組みます。</p>
--	---

⑪ CS、地域連携

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>これからの時代を生き抜く人材を育てるには必要な仕組み。異動がある我々教員は「風の人」。 「土の人」である地域の方が子どもたちに関わって貰えることは重要。今は仕組みづくりの段階だが、軌道に乗ればきっと素晴らしい取り組みになると信じている。子どもの教育は学校だけでは完結しない。 人材不足対策にも繋がるのではないかと。将来どんな職業につきたいか、ビジョンを描けない子も多い。地域との関わりはキャリア教育の側面からも重要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクール（CS）について、芽室中は地域の方々が入って、3回目の会議を終えたところ。交通安全、防犯啓発など取り組みを進めている。 ・CSについて一部の方はわかっているが、よくわからないという状況もある。メリットなど課題もある。 	<p>頂いたご意見をこれからの委員会調査のなかで反映させながら調査にあたります。</p>

⑫ 学校配置計画

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>南小学校の児童数も離農、未婚者の増加などを考えると、減少していく状況がある。中学校の入学時に大規模</p>	<p>・芽小、南小、芽中では入学前の交流事業をおこなっているようですが、保護者から中一ギャップなどに対し心配する声があ</p>

<p>校の芽室小学校の児童といきなり出会うことのGAP感がある。</p> <p>学校選択制というのもひとつの方法と思う。芽室中、西中のクラス編成を考えると、大きな集団、小さな集団の選択も必要ではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園時に、アンケート調査があったがどう生かされているのか。(配置計画) 小学校高学年時のアンケートが必要ではないか。未就学児保護者には想像できないことが多い。食育教育、心のケアなど選択制の重要性を感じる 	<p>ることも踏まえて、今後の所管調査にあたります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外地では一部の地域居住者を対象にした学校選択制がありますが、今後の子ども人口の動向なども踏まえながら、頂いたご意見はこれからの調査の際の参考にさせていただきます。
--	--

⑬ 議会運営

<p>意見</p> <p>議会に興味があるが、平日、日中の開催では中々傍聴にいけない。</p>	<p>調査後の回答・今後の委員会の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度か検討したことはあるが、議会運営には役場職員も多数関わるため、解決すべき課題が多い現状。今後も検討していくが、まずは録画などで様子を観て頂くことをお願いしたい。3年生の公民では地方議会のことについて学ぶ。ぜひ、教材として芽室町議会を活用してほしい。
---	---

2・3 芽室西小学校・西中学校PTA(合同開催)

<p>日 時： 令和元年 11 月 20 日(水曜)19:00～20:40</p>
<p>場 所： 芽室西中学校理科室</p>
<p>出席者数： 16 人</p>
<p>出席議員： 立川、中村、西尾、堀切、梶澤、鈴木、柴田、中田、常通</p>



① 人手不足

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・芽室町として、労働力を確保するために何かアイデアはないか？家庭の事情を考慮して働く側の要望に配慮（時間の短縮や急な休み、洋式トイレ、休憩等環境整備）してくれると町内でも働き手はまだいる。 ・時代にあった働く側の多様なニーズに応える。 ・かつ賃金も良ければ。 ・ほとんどの母親は働いている。幼稚園に子どもを通わせている母とかパートなら給食センターで働ける人いるはず。 ・来年度採用予定者全員に内定辞退された。やはり若者は都会志向なのだろうか？ ・以前、公立病院でのパート勤務を希望したが夜勤が出来ないため採用されなかった。多様な働き方が認められると町内でも働けるのだが。 ・芽室町の子供たちが就職先を芽室町にある職場を選んでもらうための良い方法はないか？・芽室町にある職場（会社）の魅力を知ってもらうことが大事ではと考える。 ・働きたいと思える仕事が漠然としていている。あれば子どもは定着する。 ・工業高校の就職先はほぼ道外。子どもは帰ってこない。 ・自分たちの年代は意外と、親元に家を建てて芽室町に戻ってきている。 ・病院の医師不足や看護師不足と関連するが、医療系の奨学金制度ではなく「補助金制度」のようなものがあれば戻ってくる人が増えるのでは？ ・医療系だけではなく一般企業対象として制度は考えてみては。 ・今は親同士のつながりくらいしかない。地域の人との関われる行事がほとんどない。 	<p>課題解決に向けての今後の参考になる意見が多く出され、当委員会において討議を重ね、JAめむろ・商工会など関係機関との各会議において深く掘り下げて行きます。</p>

- ・新卒者というより社会人経験者（30代以上）のU・Iターンに力を入れて欲しい。
- ・西中はキャリア体験・職場体験として芽室町内の職場体験（町内23社）を毎年実施（学校側の意見）
- ・最近の若者は物欲がないし、車にも興味がない。
- ・振興局の分析によると、都市部のほうが住居や交通費、遊興費など、地方よりもコストを抑えられ、車を持たない若者には地下鉄が必須とのこと。
- ・最近の子どもたちは、「有名ないい会社」で働きたいという気持ちはあるだろうか？
（教頭）子どもたちにはこだわりはないが、親世代にはあるかも知れない。
- ・町内にはたくさん企業があるが人手不足。地元に戻りたい子どもたちとのマッチングが上手くいけばよい。
芽室は住みやすい町なのでおすすめ

外国人労働者について

- ・今後、外国人労働者が増加していくと予想されるが？
- ・本年、外国人技能実習生を雇用したが、札幌の入管が厳しく働くまでに2～3ヶ月かかる。→回答 国レベルの対応になる
- ・芽室町役場での住民手続きなど対応は良いと聞いた。
- ・農加工作業、限定にしないで鉄工業方面にも来てくれると冬の機械整備等で働いてもらえ助かる。
- ・外国人労働者を扱うには仕事、生活等の環境整備が必要と考えるが？
- ・外国人労働者のためのコミュニケーションの確保は必要であり、コーディネーターが地元にいると助かる。
（現状では、東京から1ヶ月に1回程度しかこない。）

<ul style="list-style-type: none"> ・実習生が増えてきたら外国人向けの食品を扱ってくれる店があると良い。(インドネシア人は激辛好き、にわたりの足とか) 無理にとは言わないが。外国人同士他地域の人と情報交換して調べている。 ・最近、外国人も多く見かけるようになったが、畑作では通年雇用が出来ないため人気がないかもしれない。 	
---	--

② 安心安全な道路・通学路

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・西中、校門から踏切を渡った後が暗く、ピウカ川にかかる橋の手前までが、草刈りも十分ではなく、ゴミのポイ捨ても多い。「治安が悪い」印象 ・今年度、自転車小屋の照明を設置したが、学校の敷地が広く全体的に暗い場所が多い。 ・昨年、小学校で、踏切付近の物損事故が多く、登校時の安全に不安があるという意見があったが？ ・小学生で踏切付近を通る子は少ないと思うが、中学生がよく通る。西3条から中学校に向かう、南側の通りがやはり安全面に不安がある。子どもたちは主に北側を通っている。 ・踏切周辺では車のスリップ事故もよくあり、こまめに砂をまくなどの対応が必要。 ・愛生町は子どもが多く、登下校時も人の目が多いで安心 ・睦町の高岩団地の路駐が気になる。せめて片側だけに停めてほしい。 ・今年初の降雪。学校敷地内の除雪に苦勞した。部活バスも除雪が間に安全確保のためと運休になった。 ・バスの運休は危険回避の為には止む終えない ・職場関連の運送屋も降雪のために集荷が出来ないと連絡がきた。今はそういう風潮なのだと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の状況を把握し適宜草刈りを実施します。 ・降雪後や除雪後に道路パトロールを実施し、砂撒き作業を実施します。

<ul style="list-style-type: none"> ・台風時の都心部では、計画運休しているのに職場に行こうとしている人もいた。悪天候時などは皆で休むという考え方も必要となるかもしれない。 	
---	--

③ 地域おこし協力隊

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・移住ドラフトで人口増に期待。 ・地域おこし協力隊にもっと芽室の良さをアピールしてもらえると良い。地元住民では気づかない発見がある。 	<p>＊その場で意見交換し回答は不要とする</p>

④ 嵐山

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・嵐山のキャンプ場は、素晴らしい施設であった。整備をお願いしたい。PG場、展望台の景観など他のまちの人に自慢できる施設である。ゼロからつくるのではなく、今ある施設をどのように生かしていくかという視点も大切ではないか。 	<p>町は嵐山スカイパーク活用計画を策定した。今後はこの計画にもとづいて再開発していく。</p>

⑤ ピウカ川公園整備

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・以前、ピウカ川公園整備の調査に参加する機会があった。色々な方と話ができ素晴らしい経験となった。 	<p>＊その場で意見交換し回答は不要とする</p>

⑥ コミュニティスクール・地域と学校の連携

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・CSの現在でのイメージは？ ➡ ・本年、札幌でCSの研修会に参加した。うまくいってない所は先生の異動で、誰に講師頼んだらいいかわからなくなると聞いた。 	<p>今後のCSに関する調査のなかで、頂いたご意見を反映しながら委員会調査にあたります</p>

- ・CS では芽室町を誇りに思ってもらえる取り組みにすると大学を出ても地元に戻って来てくれると期待する。
- ・CS 言葉知っているけど具体的に何をすればいいかわからない。町民に浸透させないと先導だけになってしまう。➡熟議が必要である。
- ・委員になったからにはしっかりとやりたいが、春のCS の立ち上げから今はしゅんとなっている。12月に3回目の協議会が開催される予定。

(先生側の意見として)

- ・これまで2回の運営協議会を開催してきた。来月には西ブロックとして西小・西中の会議を開催予定。
- ・ブロック (例えば西・東・上美生) ごとの地域内のつながりを小中9年間で育てていければ良いのではと考える。

(保護者側と意見として)

- ・各PTA役員やP連にも説明はあるが末端の保護者までは伝わり切れていないのではと感じる。
- ・出生率等を考えると近い将来は学校の統合も視野に入れてCSを考えていかないかダメではないかを感じる

- ・CS 通信の存在は知っていますか？
➡・見てない。・子どもたちの便りにあった。

Q:CSの取り組みには、地域の方々の協力が不可欠である。

- ・以前から、地域の方々にボランティアをお願いしていた状況があった。しかし、学校にはメリットがあったが、地域にはメリットがないという問題があったのではないか。
- ・地域も学校もすべてがウィンウィンの関係になれば活性化が図れるのではないか。

<ul style="list-style-type: none"> ・昔の田舎のお祭りを思い浮かべる。子どもたちも参加して様々な方々との交流があった。 ・三笠市の話もあったが、特色ある高校の果たす役割も大きい。 ・高齢者の方々の多くの経験をいかに生かしていくかが大切であると考えるが？ ➡・高齢者の方々の中には、いつまでも働きたいと思っている方、働かざる得ない方など社会が大きく変化している。様々な場面になかなか参加できない現状もある。 ・CS、地域学校協働活動には関係者だけではなく多くの人材が必要になってくるが？➡人材バンクを利用しても良い。➡新教育長に期待している。 ・取り組みに対する理解を増やすためには？➡・PTAや町内会は任意だから入らなくても良いと考える親もいる。まず大人同士の和が出来るように発信してもらえると良い。昔はソフトボール大会など地域で色々あった。大人の認識を変えることが必要。 	
---	--

⑦ 学校配置

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・西地区の子どもが、さらに減っていく状況でクラスも減り、先生方も減って、中学校に入学してもやりたい部活動がないなど問題が多い。 ➡通学区域などの問題については、アンケート調査も行っており、現状のままで良いと言う結果もあった。今の少子化という現状をいかに改善していくか、そのことに尽きる。 	<p>調査後の回答・今後の委員会の取り組み 今後の頂いたご意見を反映しながら委員会調査にあたります</p>

⑧ スクールバスの利用について

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な話として小学校の吹奏楽の件。大会ではなく招待された発表会などの移動手段としてスクールバス？等の補助みたいなバスの利用は出来ないのか？他の町はスクールバス（マイクロバス）で会場に来ているようだ。 	<p>担当課に現状を確認しました。現行のように、学校単位で出場するコンクールに関しては町費負担でトラックとバスを運行していますが、それ以外の交流事業についての運行については、要望があることを認識していない様子でした。今後、予算審査の機会などを通じ、保護者の要望があることや町の考えを確認していきます</p>

⑨ 公立芽室病院

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい医師の確保は難しいと思うので、今いる医師が辞めていかないような事も考えてほしい。 ・ 町民にとっては必要な病院なのでしっかり立て直してほしい。 ・ 病院の安定的な経営を職員一同一丸となって目指してほしい。 ・ 病院の医師不足や看護師不足と関連するが、医療系の奨学金制度ではなく「補助金制度」のようなものがあれば戻ってくる人が増えるのでは？ ・ 病院は大変だろうなと思っている。支える会とかがあり大変良いことと思うが、病院の課題が多い中、かかる側（患者）そして診る側（医師）の意識を変えないといけないと思う。 ・ 何よりも信頼が大切である。 ・ 新聞報道もあった。公立病院はどこも大変な時代だが、あてにしている人がたくさんいる。 ・ 子育てのまち芽室に産科がなくなったのは残念である。 ・ 地域に病院があるという安心感は何よりも大きい。 	<p>頂いたご意見はこれからの委員会調査のなかで反映させていきます</p>

<p>情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生病院でも人材不足な状況。 (厚生病院に助産師として勤務している保護者から) ➡芽室病院の産科は人気があった。同室の母親同士のコミュニケーションづくりを助産師が上手に導くなど、スタッフが素晴らしかった。➡芽室町の出生数は年間 100 人を切った。現在十勝管内でお産が出来る施設は帯広にしかないが、芽室町に産科復活は必要か？現実的か？ ➡十勝はまだ恵まれている状況。産科のある病院まで片道 2 時間という地域もある。 ➡西部十勝というエリアで考えると必要かもしれない ➡医師一人では分娩は扱えない 	
--	--

⑩ 子育て支援策・医療費

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生までの助成拡大は良かった。 ・インフルエンザワクチンの助成には自治体格差がある。 ・芽室町は、他の町より子育て支援が手厚いと感じる。教育、子どもセンター、発達支援センターの取り組みなど充実している。 	<p>頂いたご意見はこれからの委員会調査のなかで反映させていただきます。</p>

⑪ 社会体育施設利用

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日の一般開放を子どもと利用するが、翌日に大きな大会があると、会場設営のために開放されなくなる。➡・当日早朝の準備には出来ないか➡競技によっては、設営に時間がかかるケースがある。芽室総体のバスケットは他施設のものとは違 	

<p>い旧式のため、設置するのに時間と人手が必要。</p> <p>➡他の曜日に固定されているサークルを年度ごとに交代するなど、何とか一般開放日ばかり犠牲になるのは避けてほしい</p> <p>➡町外利用者も多い。使用料を町民と差別するなど、もっと町民に利用しやすい施設にならないか</p> <p>・トレーニングルームのマシンも旧式すぎる。町外のジムや体育施設を利用している町民も多い。運動したい町民は沢山いるのに、ニーズに応えきれていない。➡回答 温水プール建て替えに合わせて整備することを伝える</p> <p>・町営球場は改修されたが、トイレが新しくなったと思ったら、直っていない。使いづらい環境で、体育館にトイレを借りに行く状況。使いやすい環境整備をお願いしたい。</p> <p>➡回答 持ち帰り、状況を確認。</p> <p>・健康プラザの一般開放の枠が少なく、予約がいっぱいの状況である。駐車場も広く素晴らしい施設なので、1時間でも全面使用したいが、使えない状況である。</p> <p>➡回答 利用団体との打ち合わせなどはしていると思うが予約のことなど状況を聞いてみる</p>	<p>今後の調査のなかで、頂いたご意見を踏まえ町の方向性などを確認していきます</p> <p>【野球場トイレ】 現在策定中の社会体育施設再整備構想、計画のなかで取り組みますが、具体的な期日については未定だそうです。</p> <p>【健康プラザ一般利用】 ・夜間の団体利用については前月 20 日に抽選をおこない調整会議を行っているそうです。日中の一般利用については空いていれば事前予約や当日の利用が可能とのことでしたが、冬期間はどうしても団体の予約で埋まり空きが少ない状況とのことでした。</p>
--	--

4 芽室南小学校PTA

日 時： 令和元年 11 月 25 日(月)19:00～21:00
場 所： 南小学校会議室
出席者数： 13 人
出席議員： 正村、渡辺、広瀬、寺町、黒田



① 人手不足

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>皆さんの労働力環境はいかがですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業をやっているが、シニアワークセンターを利用しているが、除々に高齢化も進み、人材も不足している。 ・人材派遣会社に依頼しても、派遣を断られるケースもある。 ・農業の生産計画にも影響してくる ・この二年ほど、顕著にこういった状況が表面化してきたように感じる。 <p>現状のままでは、家族の負担が増えていくということか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業だけでなく、どの業種も人材不足が表面化してきている。派遣会社に派遣する人材がない。人材の不足は、何とかしなくてはならない大きな課題。 ・時給を上げたからと言って人が来る状況でもなくなっている。 	<p>課題解決に向けての今後の参考になる意見が多く出され、当委員会において討議を重ね、JAめむろ・商工会など関係機関との各会議において深く掘り下げて行きます。</p>

<p>人が足りなくても現状を維持しようと、無理をすることになる。農業を含めて、経営の方向転換はすぐにはできるものでもない。無理できているうちはいいが、それにいきづまった時に規模を縮小しようという声も聞こえてくるかもしれない。</p>	
--	--

② 人口減少

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>・町として人口減少について危機感がありますか？人口が減るということは、歳入も減るといことなのではないか？</p> <p>危機感は共有しているつもり。</p> <p>・例えば新しい保育所を建てる時、現状の人数を想定して建設した。それはつまり、現状が最大で、あとは減少することを前提にしているのではないか？それでは、人口減少に対して対応策を講ずる熱意がないということになるのではないか？役場全体として、危機感が薄いのではないかと感じてしまう。こういった認識を共有するための研修などはしているのか？</p> <p>芽室町に予算は現在 100 億を超える。予算としては規模が大きいですが、今後の公共施設建設に当たっては、借金をしていかななくてはいけない。公共インフラの整備もあり、固定化される歳出も増えてきている。</p>	

③ 職員の意識改革

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>議会としてもこの点は問題視しているところ。今後の町の在り方を、今だけよければいいというのではなく、将来を見据えた取り組みをしようと心がけているところ。</p> <p>町としても、しっかりと財政計画にのっと</p>	<p>役場としては、人財育成基本方針ならびに、行政経営ポリシーを基礎として、毎年職員研修を計画・実施している。また、各課においても内部研修は都度行っている。毎年テーマを設定してどのような内容の研修をするか決めているので、今回の指</p>

<p>り運営している。職員もこの点は重く受け止めて仕事をしていると思う。こういった視点はとても重要なことなので、常に職員を含めて議論することにより、意識改革にもつながると思うので、しっかり取り組んでいきたい。</p> <p>町の財政は、大きな課題。いわゆる必要経費が増え、自由に使えるお金はかなり少なくなっている。限られた財源でどのようなサービスができるのか、行政経営の視点をしっかり持って取り組んでいかなくてはいけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱ものなどを建てるといったサービスもいいが、将来に負担が残っては意味がない。役場全体の意識改革は負担も増やさずサービスを向上することにつながると思うので、ぜひそういった取り組みをしてほしい。少し、意識の低い職員も見受けられるので。 <p>職員の研修計画もしっかり立てて、町も取り組んでいるところ。今回いただいた意見はしっかりと町にも届け、みんなで努力していきたい。</p>	<p>摘もしっかりと受け止め、今後テーマ設定の参考にしていきたい。</p>
---	---------------------------------------

④ 除雪について

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・先日、まとまった雪が降ったが、除雪が入らなかった。除雪基準はどのような内容か？ ・ビートの運搬の大型も走っているし、スクールバスもある。臨機応変な対応はできないのか？ ・路肩に落ちた車も多かったと聞く。学校の周辺や、スクールバスを待っている子供などが巻き込まれない保証はない。せめて、子供たちの安全確保という視点で対応できるものがないか検討するべきではないか。 <p>意見として聞き置く</p>	<p>12月からの対応としているが、実際はそれよりも早い時期の降雪に対応できるように、準備をしている。実際に今年の11月の降雪時も、降雪量の多かった路線は一部対応している。</p> <p>作業員の確保が難しい実情はご理解いただきたいが、できる限りの対応は今後も実施・検討していきたい。</p>

⑤ 防災

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>「芽室小中は、ハザードマップでは防災上安全な場所とは言えないのではないか」との意見に「堤防を高くする取り組みをしている」とその場で回答した。</p>	<p>美生川は湾曲しながら流れているため、平成28年度台風災害の後より強固な「張りブロック」「根固めブロック」を設置し、洗掘を緩和させる対策を行っています。なお堤防を高くすることはしていませんでしたので訂正します。</p>
<p>「芽室小には防災用の貯水槽が整備されている」と回答した。</p>	<p>防災貯水槽は芽室西小学校、総合体育館、芽室高校、中央公民館北側、健康プラザに整備されています。 芽室小には整備されておりましたので訂正します。 *防災貯水槽とは常時水が流れており災害時は入り口を遮断してタンクの中の水をポンプで汲み上げて災害時に使用します。</p>

⑥ 学校配置計画

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>Q 小中学校配置計画にある特定地域とは何ですか？ A 芽室町特定地域選択制の説明。校区の境に近い、一部の指定された地域のことを指す。通学の時間などを考慮して選択できる。教育委員会のホームページから詳細を見ることができる。</p> <p>Q 上美生小学校の人数・クラス数はどれくらいですか？ A 元年5月1日現在で、37人6クラス。(普通学級3、特別学級3)</p> <p>Q 南小も、年によっては人数の変動がある。その対応は柔軟に考えていくべきではないか？南小校区も遠隔地域も含まれるので、様々な対応が必要なのでは？ A 令和元年から令和8年までは、現状の配置でいくことは理解いただきたい。</p> <p>A 次の計画に当たっては、今後の子供の人数推移によっては、次の見直し</p>	<p>農村地域の状況も踏まえながら、今後所管調査のなかで頂いたご意見を反映していきます</p>

<p>で何もしないのではなく、その前段から当然議論をはじめ、検討していくことになる。</p>	
--	--

⑦ コミュニティスクール

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>Q コミュニティスクールって、具体的にどういった事例があるのですか？</p> <p>A 今年度から芽室も始まっている。各小中学校で取り組んでいるのが、南小の4年生の総合授業、西小のスカイアースの選手とともに実施した体力測定なども含まれる。</p> <p>A それぞれの地域の特色を生かして取り組みが始まったところ。道徳やマナー講座など、取り組みは多岐にわたる。多くは外部から来てもらい、授業をしてもらうスタイルとなっている。</p> <p>A 学校を拠点としてまちづくりをしようという視点もある。うらほろスタイルなどを見てもらえると中身もわかるのではないか。</p> <p>A 南小の保護者は、特に積極的に学校運営にかかわっているの、改めてCSを取り入れるといってもピンと来ないかもしれないが、都会などでは地域と学校のかかわりがほとんどないところもある。そこで、地域の人たちと学校が一緒になって子供を育てる仕組みを作りましょうというのが目的。</p> <p>A 大切なのは、地域みんなで考えるということ。町民みんなの意識改革が重要。地域とつながることによって将来この町に帰ってくる人も増えるだろうし、そういった方向に進んでいかなければならない。</p> <p>A そのためには、町の魅力、経済の基盤、様々なものを整備していくことも重要。CSを中心に、町のことをみんなで考える仕組みを作っていきたい。</p> <p>Q 町民として、町の将来に危機感を持つ</p>	<p>頂いたご意見をこれからの委員会調査のなかで反映させながら調査にあたります。</p>

<p>ている人ってどれくらいいると思いますか？あまり多くないと思うのですが。</p> <p>A 地元意識の低下は少なからずある。芽室だけの問題ではなく、すでに社会現象と言っているのではないか。だからCS、だから住民参加、こういったものの重要性を認識し、住民の意識を変えていく、参加してもらう取り組みをしていかななくてはならない。</p> <p>A 町内会の未加入問題もあるが、地縁組織は必要ではないか？自分たちの町は自分たちで作るというのは大切なこと。そういった意味もCSには当然含まれていくと考えている</p>	
--	--

⑧ 公立芽室病院

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>Q コンサルが入って経営の立て直しをはかっているとのことだが、大切なのは病院上層部の意識改革なのではないか？自らが考えなければ、コンサルが入ってもあまり変わらないのではないか？</p> <p>A これからは、公立病院も選ばれる病院になるためにどんな取り組みが必要かを考えなければならない。</p> <p>Q 芽室から病院がなくなるというのは困るので、しっかりやってほしい。</p> <p>A それぞれしっかり改革していこうと思いは、先日の意見交換でもきくことができた。が、まだまだ道半ばというところなので、議会としてもしっかりと取り組んでいきたい。</p> <p>Q 小児科があるというのはとてもありがたい。が、休診や、診てもらえない時間が長いとやはりどうしても遠のいてしまう。いつでも診てもらえるという安心感を町民に与えることが大切なのではないか？</p> <p>A 現在小児科の医者は一人。外来のほ</p>	<p>頂いたご意見を踏まえながら今後の調査にあたります</p>

<p>かに検診や予防接種なども行っており、どうしても外来に制限がかかってしまうこともある。</p> <p>A 産科はなくなってしまったが、乳幼児からお年寄りまで、幅広く診察できる施設でもあるので、経営については、しっかり立て直していかななくてはならないし、議会としてもしっかり取り組んでいきたい。</p> <p>Q 医師の確保は、現状やはりかなり大変な感じですか？</p> <p>A 産科を閉鎖したのも、これまで勤めていた方が退職され、その後の医師の確保が難しかったということに起因している。</p> <p>A 産科の医者は、帯広においても確保が難しいのが現状。</p> <p>A 町としても苦渋の判断だった。</p>	
---	--

⑨ ピロリ菌検査

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>Q 過去に、ある学年を対象にピロリ菌の検査をしたことがあったと思う。ピロリ菌は除去すればそれで完治するし、子供に見つかったことをきっかけに、その親も検査を受け、見つかる事例もあったと聞く。予防医療の観点から、とてもいいことだと思うので、再度やってみてはいかがでしょうか？</p> <p>A 現状では予定はない。過去にどのような経緯でその検査をおこなったか、今後ピロリ菌検査について教育委員会としてどのように考えているのかを、調査し報告します。</p>	<p>子育て支援課に確認しましたが、担当者も変わり当時の経緯や記録等が確認できないとのことでした。</p> <p>当日の回答にあるように、現状町が主体となってピロリ菌検査をおこなう予定はないとのことです。</p>

⑩ 学校給食

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>Q 給食センターは今後もあの場所か？</p> <p>A 移動する予定はありません。</p>	<p>※12/3 委員会で所管課から報告がありその後直ちに調査をおこないました。</p>

<p>Q 虫の混入が多い気がするので、場所的に大量発生するのかなと思いで。先日はビニールの混入もあった。</p> <p>A 調理器具の部品の混入時には議会にも報告があったが、虫やビニールなどの混入の報告はなかったので、承知していなかった。</p> <p>A このように現場の皆さん、町民の皆さんの声を直接聞くことは議会としても大切なこと。これからいろいろなご意見をいただきたい。</p> <p>Q 異物混入のたびにお詫びの文章をいただく。子供が親にそれを渡すときに、「また入っていたよ」と渡してくる。「また」って子供が認識するほど頻繁に起きている事態はまずいのではないかと思う。</p> <p>A 所管委員会としても事実確認を行い、虫や異物混入対策について調査します</p>	<p>さらに、現状は金属片などの危険な異物混入のみ議会にも報告するルールとのことですが、今後は丁寧な情報共有を教育委員会に求めました。</p>
---	---

5 上美生小・中学校PTA

<p>日 時： 令和元年 11 月 28 日(水)18:30～20:00</p>
<p>場 所： 上美生中学校音楽室</p>
<p>出席者数： 11 人</p>
<p>出席議員： 正村、渡辺、寺町、黒田</p>



① 嵐山スカイパーク

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>昨年床でおむつ交換をしているのでベビーベッドなど設置してほしいという要望については浴室でのことだったと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者から「浴室には設置されていたと思う」との発言あり。あらためて設置状況について確認することを伝える。 	<p>嵐山に確認したところ、脱衣所におむつ交換台は設置されている。ただ、設置してからかなりの期間が経過していることもあり、使いやすい状況であるとは言い難い部分もある。</p> <p>今後については、使用状況を確認のうえ、利用者の意見などを聴取しながら更新が必要かどうか検討していく。</p>

② 交通手段確保

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>公共交通手段の確保におけるタクシーチケットのことで詳しく聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度7月と2月に実施。4回分(2往復)分の支給(半額補助)となる。7月には19名がモニターとして実施されていることを説明。 <p>スクールバスの利用について。利用可能であることをもっと周知してはどうか。また回送車への乗車などは理由がないと乗れないとなっている。いろいろな手続きなしで乗車できるとよい。子どもだけではなく大人も市街地まで行けるシステムなどで雇用も新たに生まれるのでは。</p> <p>高校生の足の確保。芽室駅から各高校までは結構送迎バスが出ているが、そのバスの時間が朝早くて間に合わない。何か手段があればよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見として聞き置く 	

③ 人手不足

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>農家などでも欲しいときにいないのが現状。人材派遣会社でも時給1200～1700円くらいである。大きい酪農家などでは宿泊できる設備を</p>	<p>課題解決に向けての今後の参考になる意見が多く出され、当委員会において討議を重ね、JAめむろ・商工会など関係機関との各会議において深く掘り下げて行きま</p>

<p>整えないといけない。時給2000円出しても来ない場合もある。人材確保は本当に厳しい状況。</p> <p>札幌などでも30～40代の女性の貧困が問題となっている。地元に戻りたくても仕事がないと戻れない人も多いと思う。一方で各業種では人材不足が深刻。そのマッチングがうまくできれば、Uターンで戻ってこれる人もいれば若い女性が町に住んでくれることにつながるのでは。住宅の支援などあればよい。</p> <p>・総務経済常任委員会では2年かけて調査していくので、いずれも今後の参考とする。</p>	<p>す。</p>
--	-----------

④ 公立芽室病院

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>Q 子どものうちから公立病院を受診していれば、大きくなって受診につながると思うので、小児科があるのは大きい。</p> <p>・他の町からも患者さんが来るくらいの先生や設備があればよい。いい先生を確保してほしい。週に何度かでも送迎のバスを出すなどすれば患者の確保につながるのでは。経営に対する民間の活用をもっと進めなければこれから厳しくなると思う。最期まで自宅で生活したいという人は多いと思うので、在宅診療などはこれから必要だと思う。民間病院の先生が公立病院で診療できればよいのでは。</p> <p>A 厚生文教常任委員会でも抽出事業として現在調査に取り組んでいることを説明。今年度から外部の経営コンサルタントが入っていること、在宅診療はすでに行っていることも合わせて説明。</p>	<p>頂いたご意見をこれからの委員会調査のなかで反映させながら調査にあたります。</p>

⑤ CS・地域との連携

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>Q 年々行事も減り地域との関わりも薄れているように感じている。いまでさえ大変なのにこれ以上のことは難しいのでは。</p> <p>A 現在上美生地域で行われていることそのものがコミュニティスクールの実践だと思っている。この実践は維持継続させていくことが大切。負担が増えることなく、できる範囲での保護者や地域の関わりとなる。</p>	<p>頂いたご意見をこれからの委員会調査のなかで反映させながら調査にあたります。</p>

⑥ ICT を活用した学校教育

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>Q 教科書がたくさんあって子どもたちのカバンが非常に重たい。タブレットの導入など芽室町で何か動きはあるのだろうか。</p> <p>A 現時点では導入についての情報は得ていない。国の予算措置の動きもあるため、今後そういった話が出てくるかもしれない。</p>	<p>これから、国は一人一台 PC が持てるような予算措置をおこないます。本町がどのように対応していくかを今後調査のなかで明確にしていきます。</p>

6 芽室小学校PTA

日 時： 令和元年 12 月 10 日(火)19:00～20:30

場 所： 芽室小学校会議室

出席者数： 11 人

出席議員： 立川、中村、西尾、堀切、橋本



① 通学路の安心安全

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 芽小西側横断歩道（バスタッチ近く）の路面（樹脂製）が破損したままで、転倒した子供がけがをしたこともある。対応できないか。 	<p>北海道に報告します。（過去にも同様の通報あり）</p>
<ul style="list-style-type: none"> 東10条国道沿い住宅地から通学する子供たちの数が多い。同条5丁目、6丁目付近は通勤の車の交通量も多いが、横断歩道などもなくいつか事故が起きないかと心配 	<ul style="list-style-type: none"> 要望箇所付近は、帯広警察署に横断歩道設置を要望していますが、横断歩道や信号機などの設置は、交通量などが考慮されること、また、同様の要望において、優先的に設置しなければならない箇所が多数あることから、設置には時間を要することを御了承ください。歩行者や運転者には、今後も町と町交通安全推進委員会、また、帯広警察署芽室交番と連携を図り、交通安全啓発に努めます。
<ul style="list-style-type: none"> 平和園から帯広側の歩道には街灯が少なく、通学の高校生が心配。安価なLEDライトなどの設置は不可能か。 *町は昨年度3基照明灯を整備した。 *郊外の道路に街灯を増設するためには、一定の通行量があること、歩道があること、学校の指定経路になっている事などが必要。郊外の道路に歩道を作るには多くの手順を踏む必要がある。また、意見のあった白樺高校生徒が利用している経路では、帯広川を渡る橋があり、歩道設置は困難な状況 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道に報告します（過去にも報告の経緯有り） 過年度に高校生の動線を考慮し、北側歩道に歩道照明灯整備を終えています。現時点では、これ以上の歩道照明灯整備の予定はありません。 <p>（土木維持係）</p>
<ul style="list-style-type: none"> 東めむろからの通学路には、やはりガードレールが必要。速度超過の車が多い 	<p>北海道に報告します。（過去にも同様の要望あり）</p>

② CS・地域と学校の連携

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>元々、芽室小学校には、保護者や地域の方が関わりながら学校運営がなされてきた下地があった。これまでの取り組みを、どのようにCSという仕組みに盛り込むかがこれからの学校</p>	<p>頂いたご意見を反映させながらこれからの委員会調査にあたります。</p>

<p>の課題（教頭先生より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と関わることは地域にとってもメリットがある。学校は地域の核となる存在。希薄になりがちな地域コミュニティの再構築にもつながる期待がある。 ・現在は学校と地域をつなぐコーディネーターが不在。コーディネーターが果たす役割は大きい。 ・11月末開催の「CSに関わる意見交換会」では、学校に関わりたい住民、団体の皆さんの声が多くあることが分かった。学校でもお手伝いいただきたいことが沢山ある。 <p>・地域との関わりが重要</p> <p>・行政のイニシアチブが重要</p> <p>・地域の応援団をいかに創出していくかが課題(議員より、視察から得た情報について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労している高齢者も多くボランティアに参加出来ない人も多い ・図書館でボランティア活動をおこなっている。町内には時間を創れる方が沢山いると思う。歴史探訪会など活発なサークルが多い。学校に関わりたいけどその方法を知らない団体も多いのではないか。 ・西コミセンでは高齢者のアート展を開催していた。来年は子どもたちの絵を展示したいと考えている。 <p>➡ニーズとニーズのマッチング、潜在資源の開拓などには、コーディネーターの存在が欠かせない(議員から三笠市の状況を説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域一丸となり子どもたちを育てていこうという意識が重要 ・今年度はCSの役割、内容を深めていく時期であり、芽室町版CSをどう創りあげていくか重要な年 ・地域の状況（多忙な時期など）把握が重要（コーディネーター） ・学校運営協議会での話し合い、理解が重要 	
--	--

③ 学校給食

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食運営会議で協議が進んでいる食材費値上げ分を町費負担とするのはありがたい ・まるごと給食が9回から5回になるとの事。子どもたちが楽しみにしているのに回数減に対しては疑問がある。食育の観点からもまるごと給食の果たす意義は大きいのではないか。 ・まるごと給食に回数減について子どもへの説明が必要ではないか。こどもの権利に関する条例には「子どもの参加する権利」も保障している。子どもの声を聴く会議も必要ではないか。 	<p>12月3日に給食費値上げの件と合わせてまるごと給食の回数減について報告がありました。</p> <p>「回数を増やし内容を充実する」という説明に不明な点があった為、1月23日再度調査をおこないました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供回数減について児童生徒、保護者からの意見聴取がおこなわれていないこと ・「内容を充実」させるというが、その事業設計が明確ではないこと <p>などの課題があり、令和2年は現状通りの提供を実施しながら、令和3年に向けて体制づくりをおこなうように、1月23日に厚生文教常任委員会から教育長へ提言書を渡しました。</p>

④ 重たい通学カバン

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習との関わりもあると思うが、学校単体の取り組みではなく、町全体として考えた方が良い。学校の規模によっては置き勉が物理的に不可能な場合もある。 ・デジタル教科書の導入も検討すべきではないか 	<p>国が一人一台PC使用できるよう予算措置を今後講じていきます。町が今後ICTを活用した教育についてどのように取り組んでいくのか、これからの調査のなかで明らかにしていきます。</p> <p>いわゆる「置き勉」についても、これからの調査の際、ご意見を反映させながら解決方法を探っていきます</p>

⑤ 子どもたちへの支援、医療費助成、南小卒業生、芽室中学校入学時の中一ギャップ、これからの少子化

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の遠征費等への支援が手厚い ・中学生への医療費助成拡大、今後も継続してほしい ・小規模校から中学校への入学の際に、戸惑う子もいる。入学前の交流の機会があると良い ・芽室小のクラス編成、当分は3クラス維持可能だが、児童数は減少傾向 	<p>南小と芽小では中学校入学前に交流の場を設けていますが、その効果や現状の課題等については今後、所管調査の際などに頂いたご意見を踏まえながら、確認していきます。</p>

⑥ 公立芽室病院

意見	調査後の回答・今後の委員会の取り組み
<p>昔から町にあった病院が縮減されていく様子に、寂しさを感じている高齢者の声を聴いた。小さな町の総合病院が誇りだった。可能なら昔のように復活してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが公園でけがをした際、救護してくれたのが、お世話になった保育園の先生、搬送してくれたのが少年団のコーチ（救急隊員）、診察してくれたのが芽室病院と、地域ならではの連携プレーに感謝した。 ・夜間救急で小児科医が対応してくれるのはありがたい ・一方で、医師の働き方も気がかり ・産婦人科が正式に廃止となったのは寂しい ・分娩を扱うには、それなりの体制が整わないと不可能。 ・出生数も年々減少。芽室小学校では、来年度の新入生がついに100人を切ることになった。 	<p>今後、超高齢化や少子化、人口減少など、地域が縮小化していくなかでは、病院の役割分担も必要となっていきます。</p> <p>現在、「公立芽室病院が地域で果たす役割を明確化」する事を目的に委員会では調査に取り組んでいます。</p> <p>芽室町に病院を残すための議論をこれからも続けていきます。</p>

■団体との意見交換会

7 「市街地町内会連合会」と総務経済常任委員会との意見交換会

日 時： 令和元年 7 月 8 日(月)16:00～17:30
場 所： 役場 3 階第一委員会
出席者数： 5 人
テ ー マ： 町内会の活性化について ほか



テーマ	意見交換内容
町内会の活性化について	<ul style="list-style-type: none"> • H29 町内会活動研究大会において町内会活動の課題を洗い出しを行った。H30 から課題解決のための活動を開始。H31 芽室町と連携協定を締結した。 <ul style="list-style-type: none"> ①芽室町と市街地町内会連合会は地域課題を解決する対等な関係であること ②地域の活性化は共通課題であること ③市街地町内会連合会の活動を人、もの、金の面から支援すること 以上3点を協定締結の意義だと考えている。 • 町内会加入率は全体の60%。H31 は59%と低下傾向である。 • 目指していきたいのは、ゆるやかな関係、近すぎない距離感のある町内会である。できることをできるだけすればよい。 • 「地域の絆」という言葉を様々な審議会で聞くが、「地域」とは一体どのような人や団体を指すのか？「町内

	<p>会」とはっきり明記すべきではないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フラワータウン事業を実施する町内会が高齢化のため年々減少している。花を植えることで地域の美化が保たれるが、植樹柵に草が生え、地域の荒廃につながると心配している。 ・ 町内会活動が担っている地域活動は「行政がやればよい」という声がある。町内会や連合会はほんとうに必要なのか、意見を聞きたい。 <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会は地域活性化を進めていくためには欠かせない存在である。加入率も年々低下しているとのことだが、地域内でつながりを創出する強制力をもったしくみが必要なのではないか ・ 町内会を支援していくことはよいが、どのような支援を実施していくのか、明確にしていくべきだ。 ・ 人とかわりを持ちたくないという人が増えているように感じる。退会してしまった人は町内会でも積極的にかかわっていないが、また加入してもよいと思えるような声かけも必要だ。 ・ 町内には外国人も在住している。ことばが通じないことで地域に馴染んでいけない。町内会や地域内組織が地域内のルールを伝えていくことは大事だ。できることは自分たちでやる、その意識がないと地域は良くならない。 ・ 行政が行うと人も金もかかる。「町内会に入りたい」と思える魅力的な町内会を作っていくことだ。そのための活動費はかせない。 ・ 町内会がもっとも役立つのは災害時。日頃から付き合いを深めていくことは大事だ。 ・ 町内会加入者数や住民の意識に差があるので、活動を活発にしていく手法も理解するが、ゆるやかなつながりをまずは第一としてほしい。
<p>自治振興報償費等の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町へ要望を行い、資源物回収単価の引き上げ、ごみネット・カラスよけサークル現物支給が実現した。資源物回収単価アップにより助成金が増額し、活動が活発になることを期待したい。 ・ 自治振興報償費は町内会によって加入人数が違い、不公平感がある。納税啓発活動報償費と併せて見直しを行ってほしい。 <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算質疑でも「検討していく」と答弁があった。検討結果を調査していく。

<p>事務所スペース設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道内の町内会連合会事務所は役場に設置している自治体がほとんどであるが、個人宅に設置している自治体は芽室町しかない。役員は地域課題解決のためにも無償で仕事をしており、役員の負担は大きい。町内会事務所スペースを設置してほしい。
<p>未加入世帯の加入促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 役場職員でも町内会に加入していない職員がいる。地域住民と密接にかかわる部署にいる職員には公務員という職業意識を育てるためにも加入を進めてほしい。 今年度は未加入者世帯向けにポスター、チラシを作成し、町内会加入活動を活発化させていく。経済的支援もお願いしたい。 <p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見交換会を実施している中で発言された内容を個別テーマとして取り上げているため、それぞれのテーマについての回答はない。町と市街地町内会連合会との連携協定について今後どのような事業を予定しているのか、調査を進めていく中で個別テーマについても併せて調査をしていくものとする。

8 「どんぐり会」と厚生文教常任委員会との意見交換会

<p>日 時： 令和元年 11 月 16 日(金)18:30～19:30</p>
<p>場 所： 役場 3 階第一委員会</p>
<p>出席者数： 13人</p>
<p>テ ー マ： 芽室町における障がい者福祉について</p>



項目	内容
合同納骨塚	自分たちの子どもは墓の管理ができない。自分の墓も墓じまいしなくてはならない。ぜひ合同納骨塚をぜひ作ってほしい。 (対応)町は現在住民アンケートの実施やお寺との意見交換など検討を行っていること、中島霊園の状況について説明。
災害時の避難	一時避難所が総合体育館になっているが、障がいのある本人は環境が変わることで混乱してしまうこともあるため、避難所に行くことを家族がためらってしまう。 福祉避難所に直接避難できるとよい。 (対応)意見として聞き委員会に報告。
住まい	親亡き後の住まいについて、ケアホームやグループホームをもっと増やしてほしい。 (対応)意見として聞き委員会に報告。
通勤時の移動手段の確保	通勤手段の確保(夏場は何とかいけるが冬は厳しい)。じゃがバスを使うと出勤時間に間に合わないため、バスの時間変更できないか。 参加者からは企業自身で検討することも必要ではないかとの意見もあり。 (対応)意見として聞き委員会に報告。
働く場と職種の確保	働ける場を増やしてほしい。農作業以外でももっと増えるとよい。 (対応)意見として聞き委員会に報告。
ガイドヘルパーの確保	親以外と外出する機会は大切であるが、現在は帯広にしか事業所がない。芽室にも資格持っている人はいるのでは。 (対応)意見として聞き委員会に報告。
インフルエンザ予防接種への支援	インフルエンザ予防接種について町からの助成など検討してほしい。他の自治体に比べても高い。 (対応)意見として聞き委員会に報告。
コーディネーターの設置	支援の調整など、障がいのある方のためのコーディネーターを設置してほしい。 (対応)意見として聞き委員会に報告。

10 「芽室町社会福祉協議会」と厚生文教常任委員会との意見交換会

日 時： 令和元年 11 月 27 日(水)15:30～17:00
場 所： 役場 3 階第一委員会
出席者数： 10 人
テ ー マ： 社会福祉協議会の取組みについて



質疑等	回答、意見
地域福祉基金助成 2団体の具体的な 活動内容は	看取りに関する講演会と十勝発達の子の親の会に助成。
事業が多岐にわたるが人員は充足しているか	これまでは介護事業を担ってきたが、制度が変わり収益が上がらない。介護事業の収益が下がると他の事業への影響もある。本来の目的、地域福祉に力を入れるためにも志の高い職員を採用したいが厳しい現状がある。先進地では、ひきこもり状態にある方を就労につなげる等の事業もおこなっているが、芽室町では手をつけられる状況ではない。
人材育成事業の状況は	これまで養成講座を開催してきたが町内での就労には繋がっていない。理由としては、子育て中、希望する条件とマッチしない、ステップアップのための受講、費用対効果がない（資格取得に投じた資金と報酬がペイしない）など。社協が開催する講座は、資格取得の前段の講座でしかなくこれ以上は開催できない（財力が無いため）

成年後見人制度への取り組み状況は	社協は支援業務をおこなっているが、なり手不足。市民後見人を推進していきたい。
ボランティア登録団体数の推移は	<ul style="list-style-type: none"> ・減少傾向。先日登録団体との意見交換をおこなったが、理由としては高齢化、役員の成り手不足、事務機能（諸手続等の煩雑さに対応できない）がないなどの理由があり解散に至るケースが増えてきている。次のなり手となりうる対象世代は就労しておりボランティアに参加できる状況ではない（中間層の不在）。 ・ボランティアは団体だけではなく個人でも登録が可能。「おしえて先生」、「昔遊び」などでは地域の先生を募集しているので、皆さんに得意なことを生かしてほしい。 ・社協のHP や、すまいるなどではボランティア募集の情報を発信している。ふまネットや新しい体操「がんバルーン体操」のインストラクターも募集している。
イベントについて	<ul style="list-style-type: none"> ・町内で催されるイベントには議員も参加して様子を見てほしい。 ・今年度の老人クラブ交歓会は、ほかの行事と重なり参加者が少ないという理由もあるが、今後は老人以外の参加もできるような工夫も必要だと考える。
今後の資金捻出策について	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで担って来た介護事業では採算が取れない。これまで社協にゆだねてきた行政も一緒に考えてほしい。元気な高齢者がいつまで元気でいられるのか。その先は社協だけでは支えきれない。 ・富良野市社協では、平成22年から地域福祉にと特化した取り組みをおこなっている。市からは4000万円の助成金がある。それを原資に生活困窮者への貸し付けとその後のフォローアッププランを立てる等の支援が可能となっている。芽室町には成年後見人が一人しかいない。これでは対応できない。 ・町内で集められた赤い羽根共同募金は、60%が芽室町に還元されることを今後も周知し、協力をお願いしていきたい。
ひきこもり状態にある方への支援	現状の体制では手がまわせない。地域での見守りや支援につなげる仕組みが必要。民生委員もなり手が不足している。プライバシーに関わる問題にも踏み込まねばならず、とても大変な業務である。現在も3地区が不在状態である。

町内会の加入率の減少と地域福祉の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在市街地には48町内会があるなか、加入戸数が8戸から196戸と地域間の格差が顕著である。加入世帯50戸以下の町内会が10以上ある。2019年春には、59.3%と60%を切った。加入率が20%台の町内会もある。町内会が地域において果たす役割は防災、防犯、教育、子育て、環境整備、福祉、介護など多岐にわたる。町内会機能の衰退は地域福祉の衰退にも繋がる問題である。 ・ サロン活動などには社協が助成をおこなっている（地域福祉活動助成事業）。申請後、審査を経て助成され、現在は12団体に助成している。社協には町内からも会費を納入してもらうが、会費を徴収していない町内会もある。 ・ 子ども会の減少傾向について周囲の保護者に話を聴くと、第一に子どもたちの多忙という現状があり、会費を払っても行事に参加できないなら「メリットがない」と言っている。また、役員はできないがイベントがあれば参加したいという声も聴く。よみきかせボランティアも共働き家庭の増加などでなり手がいない。
合同納骨塚	社協は直接関与する案件ではない、という立場だがニーズはあると考える。
障がい者の就労	移動交通手段の問題で就労を断念するケースも多い。

■高校生との意見交換会

1 芽室高校 新聞局・生徒会

日 時：平成30年12月19日(木)16:00～18:00
場 所：芽室高校 講義室
出席者数：16人(生徒)
出席議員：全議員

「生徒の思いから課題を考える」

～全校生徒アンケートから、学習・生活の課題を考えてみる～

【目的】全校生徒を対象としたアンケートを事前実施し、その集計結果から分析→問題点(意識)の抽出→課題解決に向けたディスカッション(ワークショップ)を通じて、課題解決手法を参加者で学び「まちづくりを考え・参加する機会」のきっかけづくりとする。

【課題】

あなたの日常生活・学校生活に関する現状について少しだけ教えてください。

1. 学校生活について、快適な学校生活となるために何が必要ですか？
マルをつけてください。(複数選択可)

- ①学習環境の充実 ②購買の充実 ③下校するまでの居場所
④通学手段の改善 ⑤その他()

2. 日常生活について

2-1 あなたの住むまちの「議員(市町村)」で知っている人はいますか？

- ①知っている人がいる ②知らない

2-2 携帯・スマホの使用目的は何ですか？最も使用時間が多いものを1つにマルをつけてください。

- ①SNS(twitter、LINE など) ②情報検索 ③ゲーム ④動画
⑤その他()

◆アンケート分析・意見交換から◆

■ 1. 学校生活について快適な学校生活となるために何が必要ですか

- ①学習環境の充実 ②購買の充実 ③下校するまでの居場所
④通学手段の改善 ⑤その他

(1) アンケートから分かること

[A班]

- ・下校までの居場所の数字の多さ
- ・JRやバスの時間まで玄関で待つ（冬季の寒い時も）
- ・廊下と教室に居ることができない（部活で使用しているため）
- ・購買の充実…同じものしか売っていない
- ・学習環境…習熟度別は全体の点数で分けられる…範囲別で分けることも必要では？

テーマ：下校するまでの居場所

[B班]

- ・生徒さんたちから迷わず「学習環境の充実を目指して」を提案！

テーマ：学習環境の充実

[C班]

- ・下校するまでの居場所に困っている。廊下でたむろは禁止、教室は他部活が使用、玄関は「学校の顔」なので、座り込む事が出来ないため、玄関で立ったまま時間をつぶしている
- ・西帯広からの自転車通学中、市内に向かう高校生とぶつかりそうになる事が度々ある。共通ルールを決めることは出来ないか。
- ・冬期間はバス通学だが、通学時間帯は芽室行きが一本しかないため、三条高校生徒と混乗して、車内がとても混雑する。
- ・何とか必要な時期だけでも車両増結は出来ないか。

テーマ：通学手段の改善

[D班]

テーマ：下校するまでの居場所・学習環境の充実

[A班]：下校するまでの居場所

(2) 現状を把握しよう

- ・居場所がない人 バス約20人、JR約50～60人 全校生徒の約2割程度？
- ・教室に居ることができない → 大成駅（暖房なし）で、バス停で
- ・玄関でたむろ → 早く帰りなさいとの指導
- ・冬寒く（冬が一番つらい）、夏はコンビニ（すずしい）で時間つぶし
- ・教室は吹奏楽等が使用し、空き教室がない
- ・生徒会でも新聞局でもこの問題を取り上げたことはない
- ・町内の通学者、めむろーどや公民館・図書館を利用、場所がいつも確保できるとは限らない



(3) 解決すべき課題は何だろう

- ・空き教室の利用可能性、パソコン室や家庭科室（施錠されている）



(4) どうすれば課題解決できるだろう

- 冬の対策 大成駅 車を待つ場所の改善
バス停 バスを待つ場所の改善
- 冬の寒さ 大成駅にドアをつけたり、暖房設備を整える
- バス停を箱型に（田舎のバス停のイメージ）
- 自動車・バスを待つ生徒に1つでも教室を解放する
- 部活動の時間を調整する（ローテーション）…吹奏楽部と相談する
- 吹奏楽部との話し合いは、生徒会で取り組めると思う
- 新聞局では、「こういう問題があるよ」と生徒や教師に伝えることができるかな

[B班]：学習環境の充実

(2) 現状を把握しよう

- 授業中の温度（室温）調節ができないので夏場は暑くて授業に集中できない
- 机のサイズが合わない
- 先生によって黒板の字の大きさなどが違うので読みづらいときがある
- 進路の変更をしようとしても選択科目が変更できない
- 後ろの席だと黒板の字がどうしても見えない部分がある
- 習熟度別授業の意味がない（ α クラス内でも学力の差が大きい。先生は違うが授業内容が他のクラスと同じで何も変わらない）
- 夏場の体育授業は汗を沢山かくので着替えるのが大変
- グループワークを増やす（今の授業スタイルは内容が身に付きづらい）
- 網戸がなく虫が入ってきて授業が中断する



(3) 解決すべき課題は何だろう

- * 物理的に悪い環境を改善する課題
- ① 暑さ寒さ対策ができるようにする
- ② 黒板の字が見やすくなるようにする
- * より勉強しやすい（身につけやすい）授業に改善する課題
- ③ 授業のスタイルが変われば良い
- ④ 学びたい科目を自由に選択できたら良い

(4) どうすれば課題解決できるだろう

- ① 生徒が持参したうちわなどが使用出来るように先生たちで利用するルールを決めてほしい。なので、まず生徒会で意見をまとめて学校と協議する事から始めてはどうだろうか。
- ② 電子黒板を導入すると解決できると思うが、まずテストの後のアンケート項目に、板書についての項目を追加してもらい今の状況を先生に気付いてもらう。
- ③ グループワーク方式の授業をもっと導入する。せめて机をくっつけて授業をするだけでも生徒同士でわからない部分を教え合える。
- ④ 時間切れのため話し合いできずに終わる。



[C班]：通学手段の改善

(2) 現状を把握しよう

- ・16 時台の列車は 3 両編成なのに、1 両は回送となっていて乗車できない。なぜだろう。混雑の改善になると思うのだが。
- ・定期考査期間や、学祭期間は同じ時間帯に下校するため、下り方面の列車が生徒であふれかえる。時々、目的の駅で降り損ねる生徒もいるほどだ。何とか必要な時期の車両増結はできないか。

⇒新聞局が JR に取材済み。費用面など諸事情で増結は難しいという回答があった。



- 芽室～西帯広間にも自転車専用道路があるとよい。柏葉高校周辺には自転車専用レーンが整備されている。
- マナーの徹底も必要。
- クラスのほとんどが自転車と JR での通学。徒歩通学はほとんどいない。生徒の大半の困りごとである。
- 進路を選択する際には通学手段は大きな要因の一つになるが、芽高は通いやすい高校だった。
 - ➡（議員から）定員割れしている道立高校が多い中、芽高は今のところその心配はない。通いやすく、生徒が集まってくる高校なのだから、もっと町の人たちには生徒の困りごとについて一緒に考えてもらえるよう声を出して良いと思う。

（３）解決すべき課題は何だろう

- 今回テーマに選んだ困りごとを解決するには大人のを借りないとならない。
- みんなの困りごとは大人に伝わっているだろうか？
- どうしたら、困りごとを大人に伝えられるだろうか？
- まずは声を大人に届けることから始める。

（４）どうすれば課題解決できるだろう

- 新聞局が全校生徒にアンケートを行い、芽高生の声をまとめる。
- 生徒会が、その声をもとに生徒総会を開催するために行動する。それには、先生たちの力や協力も必要。
- 芽室町で学ぶ高校生は「芽室町民」でもあるので、困りごとを町に届けることができる。みんなの声の届け先は、JR、バス会社、芽室町、芽室町議会、学校など様々ある。



[D班] : ①下校するまでの居場所

(2) 現状を把握しよう

- 1時間 JR を待つ場所がない。吹奏楽部がパートごとにほとんどの教室を使っている。
- 現状、廊下か玄関で待っている。今年から玄関で携帯も使えない。寒いので暖房のある部屋を使いたい。1年生の帰宅部4割。2・3年生は2割。最近の部活加入は自由。→156人の生徒が困っている。

(3) 解決すべき課題は何だろう

(4) どうすれば課題解決できるだろう

- 3月の芽高新聞に出して今回の課題を載せる。
- 会議室を使わせてもらえないか交渉してみる。吹奏楽部に1つでも教室を使わせてもらえないか、教室内の1部スペースを使えないか話をする。

→今回出た課題を新聞や生徒会を通して先生に認識してもらうことで課題解決への一歩に。学校を良くしたいと皆で声をあげること。



[D班] : ②学習環境の充実

(2) 現状を把握しよう

- 熱いと授業に集中出来ない。
- 虫が入ってくるのが困る。
- 教科書で扇ぐと注意される。パソコン室にもクーラーがない。
- カーテンは風が入ってこない。

(3) 解決すべき課題は何だろう

(4) どうすれば課題解決できるだろう

- ・室内の温度を下げる。
- ・網戸やすだれをつける。エアコンを付けてほしいがお金がかかりそうなので網戸を付けてほしい。
- ・校内ルールを変える。水分補給の時間をつくる。
- ・アイスノンを使う。

➡根本的な解決には道に対してクーラーの設置を要望。まずは学校側に皆で声をあげる。



■ 2-1. あなたの住むまちの「議員（市町村）」で知っている人はいますか

[A班]

[現状] 知っている 2人 親戚に議員がいる、家の前に議員のポスターがあったので。 知らない 2人。

- ・議員のイメージは、「固い」「高校生には早い（政治が）」「遠い存在」「ポスターとかチラシは見ない」「高校生は議会にほとんど興味がない」

[知ってもらうには?]

- ・家に議員の情報を伝えて欲しい
- ・芽室高校に議会だよりを置くと良いのでは

[D班]

[現状] 以前は親戚にいた→1人。知らない→3人。

[知ってもらうには?]

- SNS の活用で知ってもらう。その前にフェイスブックなどしていることを知ってもらう。→交換会で意見を言って議員を知る。来年も続けてほしい。

(※他の班は時間切れで、設問2のディスカッションが出来なかった)

■感想から

- 公務員になるのが夢。政策とかどういふことをこれからしなければいけないか勉強になった。良い経験になった。話してみると身近に感じた。ためになったし楽しかった。昨年より意見が言えたので回数を増やしても良い。



■アンケート結果（全回答数:380）

1. 学校生活について

問い	選択肢	回答数	
1. 学校生活について快適な学校となるために何が必要ですか(複数回答可)	①学習環境の充実	146	
	②購買の充実	169	
	③下校するまでの居場所	156	
	④通学手段の改善	134	
	⑤その他(以下回答)	45	
		・網戸をつけて欲しい	9
		・教師の充実	6
		・新しい種類の自動販売機	5
		・エアコンをつけて欲しい	5
		・校則の改正	4
		・ストーブの温度調節	3
		・学食の設置	2
		・近くにファストフード店が欲しい	1
		・トイレをキレイにして欲しい	1
		・部活動の充実	1
		・分かりやすい授業	1
		・友達関係	1
		・映画館が欲しい	1
		・振替休日が欲しい	1
		・イベントを増やして欲しい	1
	・電子黒板での授業がしたい	1	
	・屋上に行けるようにして欲しい	1	
	・JRの増結をして欲しい	1	
	・進路にしっかりする学校	1	

2. 日常生活について

問い	選択肢	回答数	
2-1あなたの住むまちの「議員(市町村)」で知っている人はいますか	①知っている	95	
	②知らない	278	
2-2携帯・スマホの使用目的はなんですか。最も使用時間が多いものを1つにマルをつけてください。	①SNS(ツイッター、ラインなど)	240	
	②情報検索	20	
	③ゲーム	41	
	④動画	81	
	⑤その他(以下回答)	4	
		・音楽を聞く	2
		・通話	1
	・漫画	1	

2 白樺学園高校 1年(白樺学園高等学校と芽室町議会の包括連携協定事業)

日 時： 令和2年 2月4日(火)～7日(金)9:40～11:00

場 所： 役場3階 本会議場・第一委員会室

出席者数： A組27人、B組 28人、C組42人、D組42人

出席議員： 全議員

※白樺学園高校1年の現代社会（公民科）の授業の一環として行う「フィールドワーク」において、芽室町議会に訪れていただきました。

授業のテーマ： 地方自治を学ぶ～議会でどんなところ？

【目的】

- 議会活動の認知度向上を図る
- 芽室町議会議員との交流を通じ、異世代とのコミュニケーション能力の資質を深める。
- 「若い世代の考えを政策に反映させ」「まちづくりを考え・参加する機会」のきっかけづくりとする。

【学習・体験内容】

セッション1:議事堂見学・議会体験

- ①生徒は指定されていた議場の「議席」に着席
- ②担当議員から議事堂の説明
- ③「シナリオ」に沿って模擬議会を実施

セッション2:「議会ってこんなところ」～議会の仕組みなどを説明

- ①資料を使って担当議員が議会概要・運営の仕組みを説明
(プロジェクター・スクリーン使用)
- ②生徒からの質疑応答

「模擬議会」進行の様子

ただ今の出席議員は16人で、定数の過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。これより、「令和2年白樺学園高等学校による芽室町議会模擬議会」を開会いたします。



日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、芽室町議会会議条例第123条の規定により、1番、〇〇議員及び2番、□□議員を指名いたします。



令和2年白樺学園高等学校による芽室町議会模擬議会の運営について、1月31日に開催した議会運営委員会の審議結果について、ご報告いたします。

当日は、議長の出席を得て、町長・総務課長の出席を求め、本会議の開催日及び議案の審議要領等について審議を行いました。

まず、一般質問については、1月30日午後5時の通告期限までに、1人の議員から通告がありました。このことから、本日1人が一般質問を行うことにいたしました。

また、本会議に提案予定事項の説明を受け、その審査を行いました。提案予定事項については、町長提案は1件で、内容は条例制定が1件であります。これらの状況を考慮し、議会体験の本会議については、本日1日にすることと決定をいたしました。

町長提案1件につきましては、いずれも本会議において審議、報告を行うことといたしました。

以上、議会運営委員会における審議結果報告といたします。

私の質問は、通学路の環境整備についてであります。

現在、町内には芽室高校・白樺学園高校の2つの高等学校が設置されております。白樺学園高等学校は農業地帯にあり、歩道は整備されているものの、街灯の設置はない状態です。付近は町道ですが交通量も多く、下校の時刻になると真っ暗になり、通学路の安全面の確保が必要と考えております。

そこで、街灯の設置について、どのようにお考えになっているのか、町長の見解を伺います。



〇〇議員のご質問にお答えします。町としては、ただいまのご質問の内容について、関係者と検討したいと考えております。

町としては現状を認識しておりますので、今年度内に、学校関係者、地域の方々と意見を交わす場を設けてまいりたいと考えております。

日程第4、議案第1号 消費税改正に伴う学校内の自動販売機の料金改定に関わる条例制定の件を議題とします。提案理由の説明を求めます。総務課長！



それではご説明いたします。内容につきましては、商品の価格を現行の100円から110円への値上げを行います。具体的な商品については、お手持ちの資料に記載しておりますので、ご覧ください。以上で説明を終わります。



議長！



自動販売機の料金改定に関わる条例制定の件につき、反対の立場から討論いたします。増額は10円ですが、現在の状況から考えると、非常に厳しいものとなり、高校生の財政状況は、さらに深刻なものになると思います。よって値上げすべきではないと考え、反対討論といたします。

議長！



自動販売機の料金改定に関わる条例制定の件につき、賛成の立場から討論いたします。今回の消費増税に伴い、増額しないと、自動販売機を設置する事業者の経営に打撃があり、場合によっては自動販売機が撤去されるなど、私たち生徒の学校生活に対して大きな影響が考えられます。よって今回の値上げは、やむを得ないと考え、よって今回の値上げは、やむを得ないと考え、賛成討論といたします。

討論を終わります。
これから採決します。本案は、原案のとおり決定
することに、賛成議員の起立を求めます。



起立少数と認めます。よって、本案は否決され
ました。
以上で、本日の会議に付された議件は全部終了
いたしました。
これをもって、令和2年白樺学園高等学校によ
る芽室町議会模擬議会を閉会します。



お疲れ様でした～！





北海道芽室町議会

082-8651

北海道河西郡芽室町東2条2丁目14番地

<http://www.memuro.net/gikai/gikai.htm>

e-mail g-shomu@memuro.net

tel0155-62-9731 fax0155-62-9813